

件名	いんしゅう鹿野まちづくり協議会視察から戻って(第5回松崎駅前活性化協議会)
日時	2017年2月27日 16:00— 16:30
場所	中央公民館 談話室
出席者	谷口、上治、川崎、立木、岸田、速水、北村、以上は協議委員(委任状:本庄)、 (敬称略) 役場より山根、岩崎、船木、まちづくり会社より川田、新田(記録)
決定事項	次回 3月14日
(合意事項)	
次回までの 調整事項	
配布資料	生涯活躍のまちの具体的な多世代交流拠点(松崎駅前)の整備計画案(A3版)

(会長)本日鹿野視察でいろいろ考え学んだ。本日の視察を活かして、Aコープに絞り込んだ意見交換をしたい。

(委員) Aコープの図面はもらったが、この基本的なコンセプトを聞きたい。

(事務局) 役場としては3つの「きょういく」 共育・教育・今日行く。ふらりと訪れる拠りにしたい。生涯活躍のまちの基盤には、地域包括ケアシステムがあります。みなさんが健康で暮らし、必要な時には医療の相談や地域包括ケアシステムに関係する場所。移住希望者や観光客への案内所、健康維持の場所などを予定。内容は図面のようなことだが、配置についてはこれから。

(委員) これまでの協議会で話し合ってきたが、交流の場と買い物場所、情報発信の場所の3つに集約されてきていた。今後はAコープの内容とのすりあわせが可能なのか。

(事務局) 皆さんから頂いている意見と比べてみると、買い物の場がマルシェ(市場)、カフェやふれあいホール、などが交流の場。また観光案内やお試し住宅などを通じて情報発信をする。よって、皆さんの意見を反映したものとしている。

(会長) 基本的なコンセプトの中に3つの内容が入っている。

(委員) 図を見るといすよりも座敷がいいかな。シャワー室やロッカールームは必要なのかな。情報発信が少ないような気がする。スタッフに情報発信者が居ればいい。ウォーキングの発信など。卓球台はここになくてもいいのでは。

(会長) ふるさと納税関連で通販などの情報発信基地にしては、などいろいろあった。松崎といえば・・・卓球。

(委員) あくまでたたき台ですね。

(委員) あくまでたたき台です。さらから考えていいのですね。

(委員) この図にこだわっていたが、たしかに卓球は流行っています。

(委員) この場に来て卓球するか？

(事務局) Aコープの中で何をやるのかは、まっさらでは進まない。鹿野のNPOが言っていたように、やりたい人が進めて行かないと、始まらない。そのためのお試しDoを紹介する。

(委員) 足湯の件はどうなっているのか。

(会長) まだ具体的になっていないのでは。

(委員) シャワールームはいるのか？

(事務局) まちづくり会社内の雑談で、ボルダリングをいれてはという意見もあり、若い人を呼ぶにはそれもいい。そうするとシャワールームがあってもおかしくない。

(オブザーバー) 協議会の人心配しているのは、この図で決まってしまうかでしょう。

(会長) あくまでたたき台です。

(委員) 卓球台やシャワールームの意味がわからない。

(委員) 昨日の区長会であったが、Aコープを5年、10年と経営が続いていくかを心配していた。同じ気持ち。

(会長) 確かにそうだが、株式会社だけでやるのではなく、会社が地域の人と一緒にやることで続いていくと思

う。我々はプランだけでなく、いっしょに自転車をこいでいくことが大事。

(委員) 株式会社と協議会とどう違うのか？ 他の人からも聞かれることだ。

(会長) 協議会は駅前のためにプランニングする。しかし協議会のメンバーもすることはする。会社はPDCA、協議会はPD。(plan do check action)

会社がやるには出資者に黒字をしめさなければならない。

(事務局) 違ったら意見をください。3年前にAコープを閉めた時、役場が買い取ってスーパーをやってくれれば良かった人がいただろう。しかし、いくら役場でもそれはできない。ましてプロが経営していたところが撤退したのだから難しい。そこを何とかしようとしてよどやさんたちが頑張っているが未だ足りない。そこで協議会の皆さんがいろいろ考えているのではないか。役場のコンセプト作りの中で、国からの補助もあるのでやろうとなった。そこで、会社ならば赤字を出せないの、まちづくり会社を創った。ただし何をやるのかは、皆さんのニーズによる。皆さんに明日郵送する資料をお渡しします。企画室で収益をどうするか考えていく。

私が事務局なので参加を申し入れてください。場所をお貸します。私はマルシェ担当。

(会長) ちなみに、軽トラ市は会長担当。

(委員) 鹿野の件。鹿野は城下町で落ちついた町。祭りをキーにしている。それを考えると、東郷は水(池)とお湯なのでこれをうまく使いたい。まとめていきたいと考えた。鹿野は城下町なのでお寺があるが、神社がない。東郷は神社があり織姫などのストーリーもあり資源もある。一宮の織物などがある。上手くつなげたい。

(会長) 資源の活用などいろいろ考えられる。次回の第6回協議会でさらに深めたい。本日欠席の人からも意見を引き出しておきたい。事務局は欠席の人へ資料・情報提供と意見引き出しを願う。また、次回欠席される方にも意見を出していただくようお願いしたい。

(オブザーバー) 松崎駅前の設計担当者です。駅前を歩いて感じたのは、温泉抜きには考えられないこと。自分が担当する建物は「湯」がキーになる。これまで多くの役場関係の仕事をしたが、お湯が関係するのは初めて。

寿湯との繋がりが大事。この町は昼間からお湯に入っている人が居る。お湯上がりにごろんとする場所と結んでいくといい。自分の知っている範囲では鳥取県内ではこのような場所はないので、良い場所になり集客にもつながる。たみに行ったが、難しいことを言われた。自分は出来る限りいいものを作って楽しんでもらうのだが、「たみ」さんは『なんでもないモノを持ち寄ってそれを編んで感じるものを創るのがいい』と難しい。彼の言う、『そこらへんにあるものを集めてつくる強さ。それをしないと地方はだめになる。これまでに何回もそんなものを創ってきて失敗している』と言われ、確かに感ずるところがある。自分の網ですくうと何が残るのか。自分は自分の網ですくってみたら、どういうものが残るのかを確かめたい。今は、ある建物が頭の中にあって、それが松崎駅前にはふさわしい。出来ませんことから始めるのがいい。皆さんの話を聞いて、自分の網ですくって提案したい。

(会長) 本日のポイントは交流拠点の3本柱、地域の資源の活用、特に湯、であった。

(オブザーバー) 皆さんの意見ではもっと早くしなければならないのでは。

(会長) 意見提出のスピードアップであったが、協議会はあくまでも旧Aコープが中心。従って、次回協議会は予定どおり3/14に開催したい。

(オブザーバー) 自分の担当している建物は、特に皆さんの意見に余り左右されないの、自分の網ですくって提案します。

(会長) 以上で散会するが、3月は期末で忙しいので4月に懇親会を開催したい。